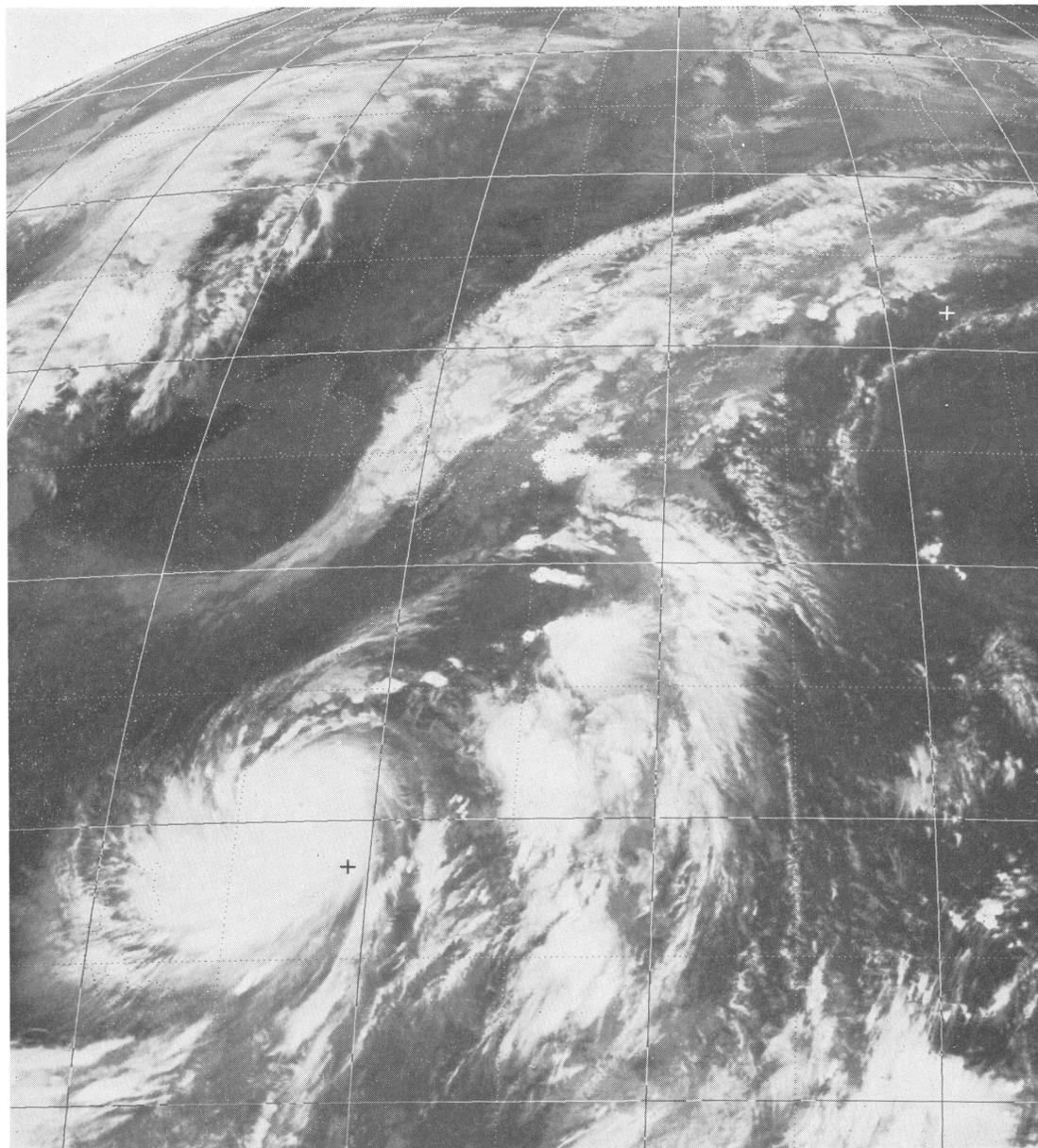


静止気象衛星 GMS (ひまわり) による写真



去る7月14日に打上げられた静止気象衛星は、現在東経140度の赤道上空35,800kmにあり、各機能の性能検査が宇宙開発事業団により実施されている。9月8日に可視赤外放射計(VISSR)の撮影に成功した。この画像は可視(波長0.5~0.75 μ m)による全球画像で、11時29分から約25分間で撮影したものである。台風9号が台湾の東南東にあり、当日9時の中心気圧は905mbの超大型であった。日本付近は雲に覆われており北朝鮮から黄海が明瞭に現われている。

(提供 気象衛星センター)



前の写真と同様、9月8日10時22分から約25分間撮影した赤外（波長 $10.5\sim 12.5\ \mu\text{m}$ ）の画像で、台風9号の付近を拡大したもの。画像の範囲は緯線が北緯10度から北緯60度まで、経線が南で東経120度から東経150度までである。

（提供 気象衛星センター）